

家康公・義元公と お茶のまち

中央労働災害防止協会 理事長

八牧暢行さん

Nobuyuki Yamaki



経歴

静岡市駿河区生まれ。県立静岡高校卒業。東京大学農学部卒業。1975年、日本鉱業株式会社入社、新日鉱ホールディングス(現JXホールディングス)株式会社取締役などを経て、2013年、日鉱金属(現JX金属、JXグループの中核事業会社)株式会社副社長に就任。この間、主に総務、人事、広報などコーポレート部門を担当。16年7月から中央労働災害防止協会理事長。65歳。
<http://www.jisha.or.jp/>

(文：長田義明、写真：八牧さん提供)

静岡市にゆかりがあり、東京を拠点に内外で活躍する皆様に、東京から見た静岡市の良さと可能性、まちづくりの方向について、ご提案いただきます。

企業の労働安全衛生を支援

大手民間会社の役員を退任し、昨年7月現職に就いた。中央労働災害防止協会(中災防)はあらゆる業種、業界、都道府県の労働基準協会などを会員とする組織。労働災害防止団体に基ついて1964年に設立され、「労働安全衛生に関する知識や情報、ノウハウ、技術を提供し、それぞれの企業の安全性向上に役立つさまざまな支援をしています」。

具体的には、▽安全衛生に取り組む人材育成▽技術サポート▽最新の安全衛生情報の提供の3つが柱。経営者や工場長などを対象としたトップセミナー、現場スタッフ向けの教育研修をはじめ、有害物質等のリスクアセスメント、仕事量の増加などによるストレス社会に応じたメンタルヘルス研修などを実施。また、「ストレスチェックサービス」についても、企業側の要望に応じて必要な調査や相談、講師派遣などを行っている。セミナーなどは賛助会員も会員料金で利用できる。

中災防は労働安全衛生分野の高い知識、知見を持った多くの専門家を擁する。「この強みをさらに強化したい。同時に増加傾向にある重篤災害対策への取り組みや労働安全衛生のマネジメントシステムの一層の普及促進を図っていきたい」と話す。

ミニ東京化は「ノー」

「今のようなのんびりムード感がふるさと静岡の最大の特徴であり、魅力だと思うんですね。個人的には、これ以上ミニ東京化してほしくないですね」という八牧さん。静岡市をアピールするとしたら何かを尋ねると。

徳川家康や義元ら今川氏ゆかりの地として、市内には国宝の久能山東照宮社殿など多くの貴重な歴史遺産が残っていると指摘、「歴史文化の呼び戻しをテーマに掲げたら、まちの落ち着きとしてはいいと思いますね」。

加えて静岡といえば、お茶どころ。全国一の生産量を誇り、江戸時代から茶の取引が続く茶町(葵区)があり、家康公もお茶を楽しみ奨励したとされる。「やはり核となるウリは家康公、それに義元公とお茶ではないでしょうか」。

駿府城公園では、天守台跡の発掘調査が進む。江戸城天守台をしのぐ可能性も指摘されており、新たな歴史遺産として注目されそう。